

<ご案内>

J-Bridge オンラインセミナー

—スイス西部のバッテリー・エコシステムとの協業連携の機会を探る—

2024年2月8日(木)

本格的なEV時代の到来、世界的な再生可能エネルギーの導入・普及に伴うバッテリー・ニーズの拡大などを背景に新たなバッテリー技術の開発にますます関心が高まっています。スイスの電子・ナノテクに関する官民研究開発機関である、スイス電子・マイクロテクノロジーセンター（CSEM）は2023年2月、バッテリーイノベーションハブ（BIH）を発足させ、化学・物理学・工学分野のアカデミアと地元企業がバッテリー開発に取り組んでおり、スイス・イノベーション・パーク・ビール（SIPBB）にも2018年末に国内最大のバッテリー試験所を備えたスイス・バッテリー技術センターが稼働しており、近年スイス西部でバッテリー技術開発が活発化しています。本オンラインセミナーでは、これら2つのバッテリー関連の研究所と、バッテリー関連分野のスタートアップ2社をご紹介します。

特に、CSEMおよびスタートアップ2社は日本企業・機関との連携に関心を寄せており、開催後のアンケート内でご希望をいただくことで、これら研究所・機関とのマッチングの機会をご提供します。

スイスのバッテリー・エコシステムの研究機関やスタートアップとの協業にご関心のある方は、ぜひご参加ください。

※本セミナーは、日本企業とスタートアップ等の海外企業の国際的なオープンイノベーション創出のためのビジネスプラットフォーム「[J-Bridge](#)」の一環として開催します。

■日時：2024年2月8日(木)

17:00-18:00（日本時間）／9:00-10:00（中央ヨーロッパ時間/CET）

■主催：日本貿易振興機構（ジェトロ）、GGBa（グレーター・ジュネーブ・ベルン・エリア）

■参加費：無料

■定員：100名

■言語：英語・日本語（日英同時通訳）

■実施方法：ウェブ会議ツール「ZOOM」を使用

※接続先等の詳細は、前日の2月7日(水)中にご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

■主な対象者：スイスのバッテリー関連スタートアップや研究機関との連携を希望する日本企業（それ以外の企業の参加も可）

■お申込み締切：2月6日（火）中まで

■お申込み方法：こちらの [参加申込フォーム](#) に必要事項をご入力ください。

■連絡先 ジェトロ・ジュネーブ事務所： SWG@jetro.go.jp （深谷、コルニエ）

免責事項・利用規約： https://www.jetro.go.jp/ext_images/switzerland/pdf/menseki.pdf

プログラム（日本時間）

17:00-17:03 ZOOM 機能に関するご説明

17:03-17:05 開会のご挨拶 ジェトロ・ジュネーブ事務所 所長 竹上 嗣郎

17:05-17:15 「Introduction of the Swiss Battery Technology Center, SIPBB (Swiss Innovation Park) Biel/スイス・バッテリー技術センター（スイス・イノベーションパーク・ビール所在）のご紹介」

Mr. Christian OCHSENBEIN, Head of [Swiss Battery Technology Center, SIPBB](#)

17:15-17:25 研究機関によるピッチ・CSEM

Mr. Andrea INGENITO, [CSEM](#)

17:25-17:35 スタートアップピッチ①Batterylog

Mr. Stefan BRÖNNIMAN, CTO/Co-Founder, [Battery Log](#)

17:35-17:45 : スタートアップピッチ②Loxo

Mr. Claudio PANIZZA, Co-Founder CTO, [LOXO](#)

17:45-17:57: 質疑応答

モデレーター ジェトロジュネーブ事務所 所長 竹上 嗣郎

17:57-18 :00: 閉会のご挨拶

Mr. Malcom WADE, Head of Communications, [GGBa](#)

登壇企業紹介

〈Swiss Battery Technology Center, SIPBB〉

スイスの非営利研究センターであるスイス・イノベーション・パーク・ビール（SIPBB）は、国際的な研究投資を誘致し、スイスのイノベーションと新興企業を育成して、研究成果を迅速に実用化可能な製品に結びつけることを目指している。スイス・バッテリー技術センターは SIPBB に所在し、国内最大のバッテリー試験所を備えたバッテリー技術の研究所。バッテリー技術の有効性・安全性の調査や、バッテリーの解体や材料を再利用する新しい方法の模索によって、リサイクル率を最大化する研究などを行っている。

〈CSEM〉

スイス電子・マイクロテクノロジーセンター（CSEM）は、1984年に設立されたスイスの電子・ナノテクに関する官民研究開発機関であり、スイスの6つの拠点に550人以上の従業員を擁し、200件以上の登録特許を有する。精密製造、デジタル化、超低消費電力エレクトロニクス、光学素子、AI、持続可能エネルギーの分野において、社会的インパクトの高い「破壊的（disruptive）」技術を開発し、それらのイノベーションを再生可能エネルギー、ヘルスケア、時計製造、航空宇宙など様々な分野の産業パートナーに譲渡したり、スタートアップの設立を促進する。官民の非営利組織である CSEM の使命は、大学、研究機関、産業パートナーとの継続的な連携を通じて、スイス企業のイノベーションを支援し、経済を強化することである。2023年2月、バッテリーイノベーションハブ（BIH）を発足させ、化学・物理学・工学分野のアカデミアと地元企業がバッテリー開発に取り組んでいる。

〈Battery Log〉

2022年にベルン応用科学大学のスピンオフとして設立され、バッテリー用ソフトウェア、特にバッテリー使用データのクラウドベースの分析に重点を置いたソリューションを提供する。このほか、エネルギー貯蔵領域において、組み込みからウェブアプリケーションまで、カスタマイズされたソフトウェアソリューションを提供している。

〈LOXO〉

2021年に設立され、独自の自律走行ソフトウェア、配送車両および遠隔制御を含むフルパッケージを提供する。同社の配送車両 LOXO Alpha は、欧州で初めて公道を走行する完全自律走行車両である。同社の技術はラスト&ミドルマイル配送の効率性、柔軟性、安全性を向上させ、環境フットプリントを削減し、すべての人に利益をもたらす。

〈GGBa〉

2010年に設立された各州共同の公的投資促進機関。スイス西部（ジュネーブ州、ヴォー州、ベルン州、フリブール州、ヌーシャテル州、ヴァレー州）をカバーし、州投資誘致局と連携しながら、外国企業の進出をサポートしている。

以上